

(5) 持続可能な社会の実現に向けた取組



① 食べ物や身の回りの物から考えてみよう

わたしが私たちが食べる食べ物や身の回りの物には、遠い国の生産者が作った原料や材料を使っている物がたくさんあります。様々な物の原材料がどのように作られているかを調べ、物を作った人や現地の環境を想像し、

世界の国々の現状や問題点を考えていくことが、持続可能な社会に向けた大切な取組の一つです。

このことを考えるために、様々な商品の「認証制度」が参考になります。

② 環境保護や生産者の自立など、様々な認証制度があります

自然環境を守ったり、農業生産者や森林地域に暮らす人々の生活を良くしたりする取組の一つとして、「レインフォレスト・アライアンス」という認証制度があります。

コーヒー豆やバナナを栽培したり、木から紙を作ったりする時などに、森林の生態系や、農業や林業の生産者の生活を守っていると認められた場合、小さな緑のカエルのマークを付けることができます。

このマークがついている商品は、環境や人を守りながら作られたことを示しています。

レインフォレスト・アライアンスマーク

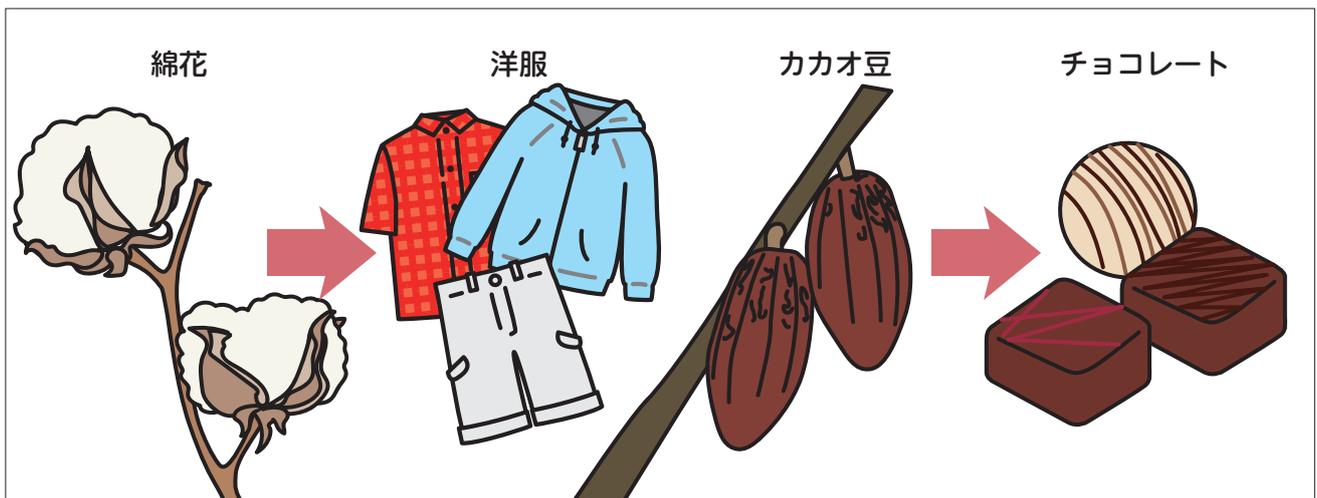


レインフォレスト・アライアンス以外にも様々な認証制度があります。自然環境を守ることと同様に重要な、生産者の生活を守る取組の認証制度として「フェアトレード」があります。

③ フェアトレードとは？

フェアトレード(公正な貿易)は、海外の生産者と適正な取引をすることで、誰もが取り残されない社会を作ろうとする取組です。

例えば、私たちが着ている洋服の原料である綿や、おやつに食べるチョコレートの原料であるカカオの多くは、アジアやアフリカの開発途上国で生産されています。



綿やカカオの生産者の中には、世界での標準的な取引価格がいくらなのかを知らないために、本来の価格よりも安い価格で出荷している場合があります。買い手が生産者の弱い立場を利用する取引を防ぐことで、生産者が十分な利益を得て、自立して生活できるようにするための取組の一つが、フェアトレードです。

フェアトレード^{にんしやう}認証マーク（2種類）



フェアトレードでは、①適正価格の保証、②発展のための資金の上乗せ、③代金の前払い、④長期的な取引などを約束します。このような取引をすることで、生産者は安定した仕事を得られるようになります。生活の質が上がり、環境に配慮した生産をすることもできるようになります。

4 私たちにできること

地球規模での環境問題を解決しながら、地球上で生活するあらゆる人たちの生活環境を改善することで、持続可能な社会が実現します。私たちは、普段の生活の中で、環境や社会に配慮した商品を買うことで、持続可能な社会の実現に貢献することができます。



コラム：札幌市は日本で5番目のフェアトレードタウン

市民や企業、学校、行政機関などが一体となって、みんなでフェアトレードに取り組んでいるまちを、フェアトレードタウンと言います。

フェアトレードタウンはイギリスで始まった制度で、世界中で約2,000都市が認定されています。フェアトレードタウンになるためには、①フェアトレードを進める組織がある、②フェアトレードを広めるための運動が行われている、③まちにフェアトレードが浸透している、④フェアトレードによって、まちが盛り上がっている、⑤フェアトレードの商品を扱う店がたくさんある、⑥市長や議会がフェアトレードを認めてい

る、という6つの条件を満たしている必要があり、札幌市は2019年6月に日本で5番目のフェアトレードタウンに認定されています。



フェアトレードタウン認定式